

市民満足度調査報告書

令和6年2月

鳥 栖 市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の設計.....	1
(3) 回収の結果.....	1
(4) 報告書の見方.....	1
第2章 調査結果要旨.....	2
第3章 調査の結果.....	6
1. はじめに、あなたご自身のことを教えてください。.....	6
2. 鳥栖市のことについて、お聞きします。.....	8
第4章 調査票.....	47

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

鳥栖市に在住する市民の意識を調査することで、「第7次鳥栖市総合計画（令和3年度～令和12年度）」で掲げる6つの基本目標に基づき、「住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち鳥栖ー“鳥栖スタイルの深化”ー」の実現に向けた取組の進捗状況を把握するため。

(2) 調査の設計

- 調査地域 鳥栖市
- 調査対象 令和5年9月1日現在で鳥栖市にお住まいの18歳以上の方。
- 調査方法 郵送による配付、郵送又はWEB回答による回収
- 調査期間 令和5年10月2日～令和5年11月30日
- 抽出方法 無作為抽出

(3) 回収の結果

発送者数	有効回収数	有効回収率
2,000人	909人	45.5%

(4) 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

第2章 調査結果要旨

第7次鳥栖市総合計画で掲げる6つの基本目標ごとに、調査結果の主なものをまとめました。

◎基本目標 1.「自然との共生を図り、未来へつなぐまち」に関する調査（質問 1.2.3.31）

リサイクルには市民の9割以上が取り組んでいる。一方CO₂排出削減については6割が「意識しているがなかなかできない」「何をすればいいかわからない」と回答。

- 資源物回収やリサイクルプラザへの資源物持ち込みなど、リサイクルへの取り組みについて尋ねたところ、全体の90%以上の市民が「毎回している」「たまにしている」「別の方法でリサイクルしている」と回答しました。一方、CO₂排出削減について意識しているか尋ねたところ、「意識しているがなかなかできない」「何をすればいいかわからない」との回答が全体の58.3%を占めました。
- また、リサイクルについて「毎回している」と回答した市民のうち、CO₂排出削減に「意識して取り組んでいる」と回答したのは70歳代以上では60.8%であるのに対し、30歳代以下は35%にとどまり、34%は「意識しているがなかなかできない」、21%は「何をすればいいかわからない」と回答しています。
- このことから、CO₂排出削減については、年代により意識の差があることがわかります。年代による意識の差を考慮し、リサイクル活動以外にもCO₂排出削減に繋がる活動をわかりやすく広報する必要があることがわかります。

◎基本目標 2.「快適な生活を支えるまち」に関する調査(質問 5.6.7.8.9.10.11.12.32)

渋滞しているイメージがあるのは生活道路より主要な道路（国道3号、34号、県道久留米基山筑紫野線、県道佐賀川久保鳥栖線など）。生活道路は、弥生が丘・旭地区で特に渋滞しているイメージがあり、歩行者や自転車の安全性に課題がある。

- 主要な道路に渋滞するイメージがあると回答した市民の割合は87.9%となっています。生活道路に渋滞するイメージがあると回答した市民の割合は67.1%となっており、市内の道路の渋滞は主要な道路でより起きていると考えている市民が多いことが分かります。
- 生活道路については、特に弥生が丘地区、旭地区で渋滞していると回答した市民の割合が高くなっています。弥生が丘地区、旭地区は歩行者や自転車にとって安全で快適だと思っていると回答した市民の割合も低くなっており、生活道路の交通量が多いことが原因の一つになっている可能性があります。

鳥栖駅周辺は「発展しているがまだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と答えた市民が 84.7%を占め、鳥栖駅周辺に期待する将来像としては「日常生活に便利な商業施設が充実した地区」との回答が多い。

- 鳥栖駅周辺の将来像についてたずねたところ、日常生活に便利な商業施設が充実した地区が 38.9%、バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場など交通の利便性の高い地区が 21.2%と多く挙げられていました。若い世代は商業施設の充実、年齢が上がるにつれ交通の利便性が重視されています。商業施設以外に充実させたい施設は、教育・文化施設が 38.9%と最も多く、30 歳代は子育て施設が 44.6%を占め、年齢が上がるにつれ介護施設を重視しています。
- 鳥栖駅周辺の活性化について「発展しているがまだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と答えた市民は全体の 84.7%を占め、将来像については、商業施設が充実した地区と答えている割合が 40.8%と最も多い結果となりました。

◎基本目標3.「安全で安心して暮らせるまち」に関する調査（質問 4.13.14.33）

防災について、73.9%の市民は防災への意識を持っており、関心は非常に高い。一方で「準備できている」と回答した市民は 11.1%に留まる。

- 災害情報の収集方法や避難場所の確認等、防災について「少し考えている」、「意識しているが難しい」と回答した市民は 73.9%にのぼり、市民の関心が非常に高いことがわかります。一方で「準備できている」と回答した市民は 11.1%に留まっています。
- 災害はいつか起きるものとの意識で、非常時の持ち出し品や備蓄品を準備すること、また、家中の安全対策を行うなど、市民の高い防災意識を準備に繋げるため、啓発等の取り組みが求められます。

◎基本目標 4.「誰もがいきいきと暮らせるまち」に関する調査 (質問 16.17.18.20.23.24.25.34)

高齢者の町内会活動、ボランティア活動、まちづくり推進センターの活動など、地域活動への参加意識は高く、健康づくりや生涯学習の分野からも、高齢者が地域で活発に活動していることが読み取れる。一方で、地域活動に参加したことがない若い世代に対し、参加を促す工夫が求められている。

- 町内会活動やボランティア活動について、「できるだけ参加している」と回答した市民は 26.5% であり、回答割合が最も多いのは 70 歳代以上でした。まちづくり推進協議会の活動に対しても「できるだけ参加している」の回答割合が最も多いのは 70 歳代以上であることから、高齢者の地域活動への参加意識が高いことがわかります。
- 高齢者の健康づくりについて、取り組んでいるイメージがある 70 歳代以上の割合は 70.3% と高く、町の教室や公民館で取り組んでいるイメージが 59.4% と最も高くなっています。生涯学習について、公民館やまちづくり推進センター等で行われている講座や教室へ「よく参加している」との回答が最も多いのも 70 歳代以上であり、高齢者が町の教室や公民館などで活発に活動していることがわかります。
- 一方、30 歳代以下は町内会活動やボランティア活動について、「できるだけ参加している」の割合は 18.1% と低いものの、「参加したくない」の割合も 9.3% と低く、49.3% が「参加したことがない」と回答しており、まちづくり推進協議会の活動に対しても同じ傾向がみられます。このことから、若い世代は地域活動へ参加したくないわけではなく、機会がないと考えていることがわかります。活動内容の周知や、参加しやすい内容にするなど、参加を促す工夫が求められます。

◎基本目標 5.「子どもが心豊かに育つまち」に関する調査(質問 15.21.22)

充実させたい子育て支援は、育児不安の軽減。子どもの病気や育児の悩み、仕事と育児の両立など、保護者だけでは対応が難しい問題に対し、誰かに頼ることができるサポート体制が求められている。

- どのような子育て支援を充実させるべきか尋ねたところ、「育児不安の軽減」に関する回答が最も多く、育児の悩み相談の充実、子育て支援施設の充実、病児保育施設の整備、障害児支援の充実、子どもの医療費助成の拡充に関連する意見が多く寄せられました。
- 「育児不安の軽減」以外には、「子どもを預けて働ける環境の整備」、「子どもの遊び場・公園の整備」が続き、20 歳代は「子育て世帯への経済的支援」、30 歳代は「子どもの遊び場・公園の整備」、40 歳代、50 歳代では「子どもを預けて働ける環境の整備」に関する回答が多く、年代により充実させるべきだと思える内容は変化しています。

◎基本目標6.「活力と賑わいにあふれるまち」に関する調査（質問 26・35・36・37）

スポーツに親しんでいる市民の割合は38.4%と高く、充実させたい体育施設は、個人で気軽に利用できる施設、気候や時間に関らず利用できる屋内体育施設、多目的に利用できる屋外体育施設のニーズが高い。

- スポーツを観戦する、または自身でプレーする機会があると回答した市民の割合は、38.4%と高くなっています。
- 充実させたい体育施設については、スポーツジムやウォーキングコースなど、個人で気軽に利用できる体育施設のニーズが高いことがわかります。屋内体育施設やプールについては、夜間の利用や、料金が安価であること、雨天や猛暑など天候に影響されずに利用できることに関する意見が多く寄せられました。チームスポーツに関する回答には、野球、サッカー、バスケットボール等多目的に使用できる施設に関する意見が多く寄せられました。
- 自由記述の意見から、体育施設には、個人で気軽に利用できること、気候や時間に関らず利用できること、多目的に利用できることが求められていることがわかります。

◎「基本目標を推進するに当たっての考え方」に関する調査（質問 19.27.28.29.30）

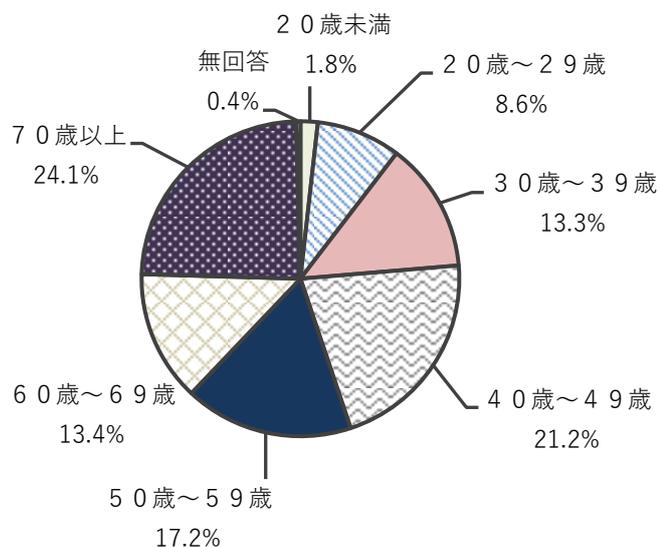
パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることが浸透しつつある一方で、オンライン申請には年齢ごとに温度差が大きい。

- パソコンやスマートフォンから必要な行政サービスの情報を得ることができると回答した市民の割合は年齢階層が高くなるに従って低くなる傾向にあるものの、60歳代でも約半数(48.4%)が肯定的な回答をしており、パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることが一般化しつつあることが分かります。
- 一方で、オンライン申請などのデジタル化された行政サービスについては、利用を希望する市民の割合は年齢階層が高くなるに従って低くなる傾向にあります。このことから、パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることに比べてオンライン申請などのデジタル化された行政サービスについてはハードルが高いことが分かります。今後、市民サービス向上を図るため、高齢者層を中心に啓発などの取り組みが求められます。

第3章 調査の結果

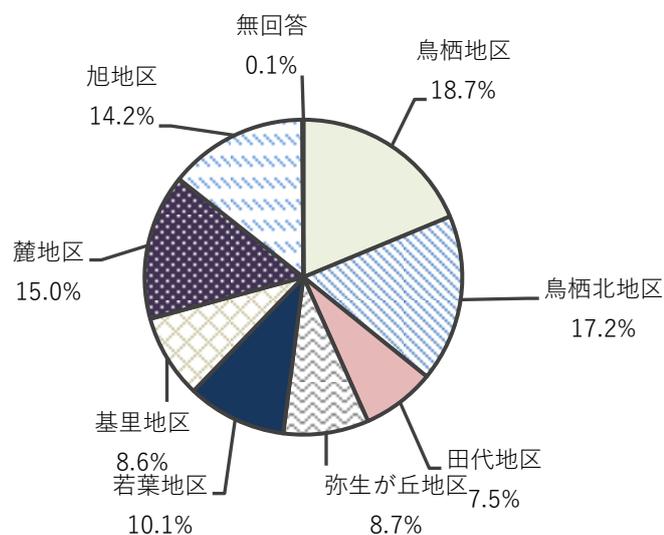
1. はじめに、あなたご自身のことを教えてください。

1. あなたの「年齢」を教えてください。



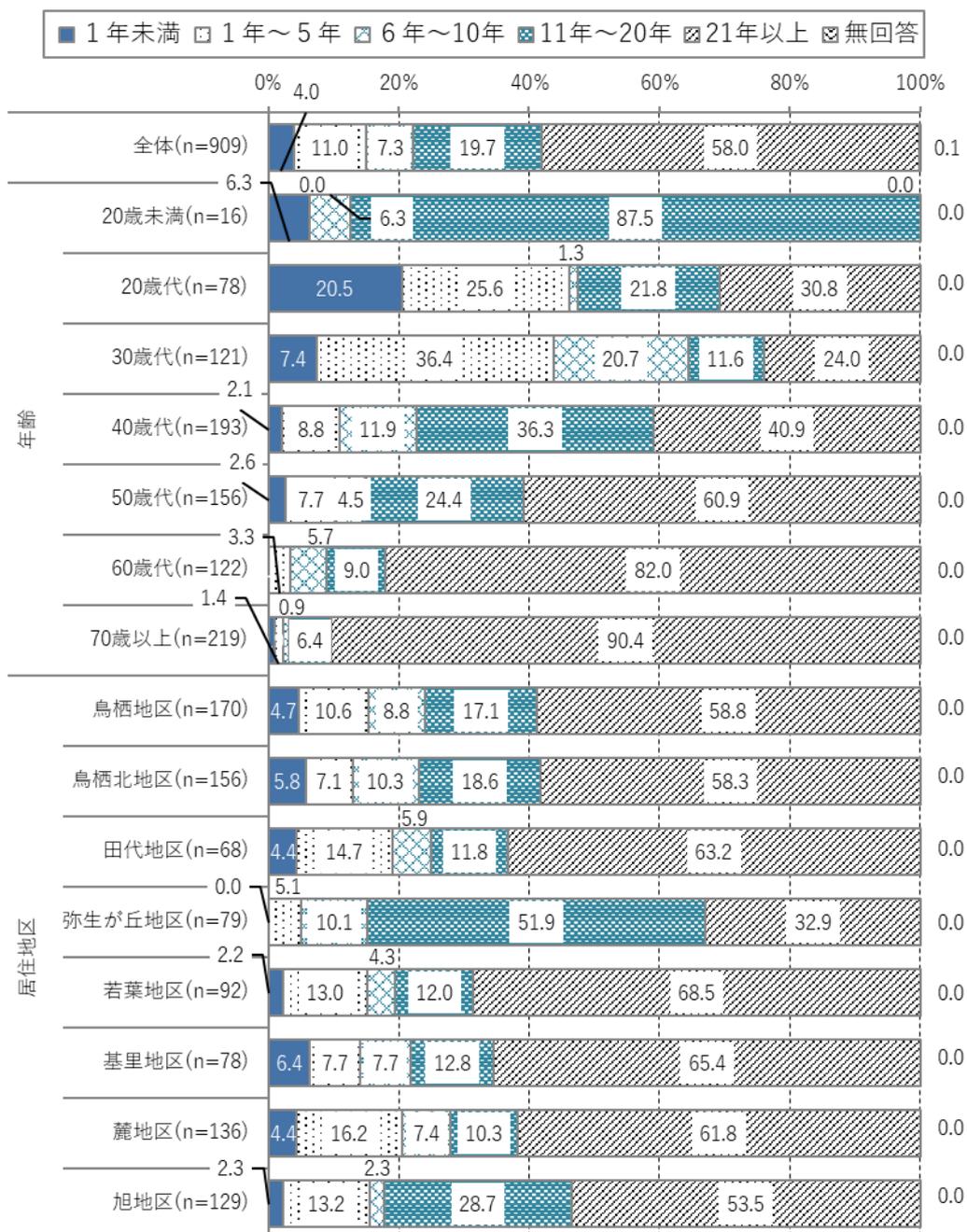
n=909

2. あなたが「現在お住いの地区」を教えてください。



n=909

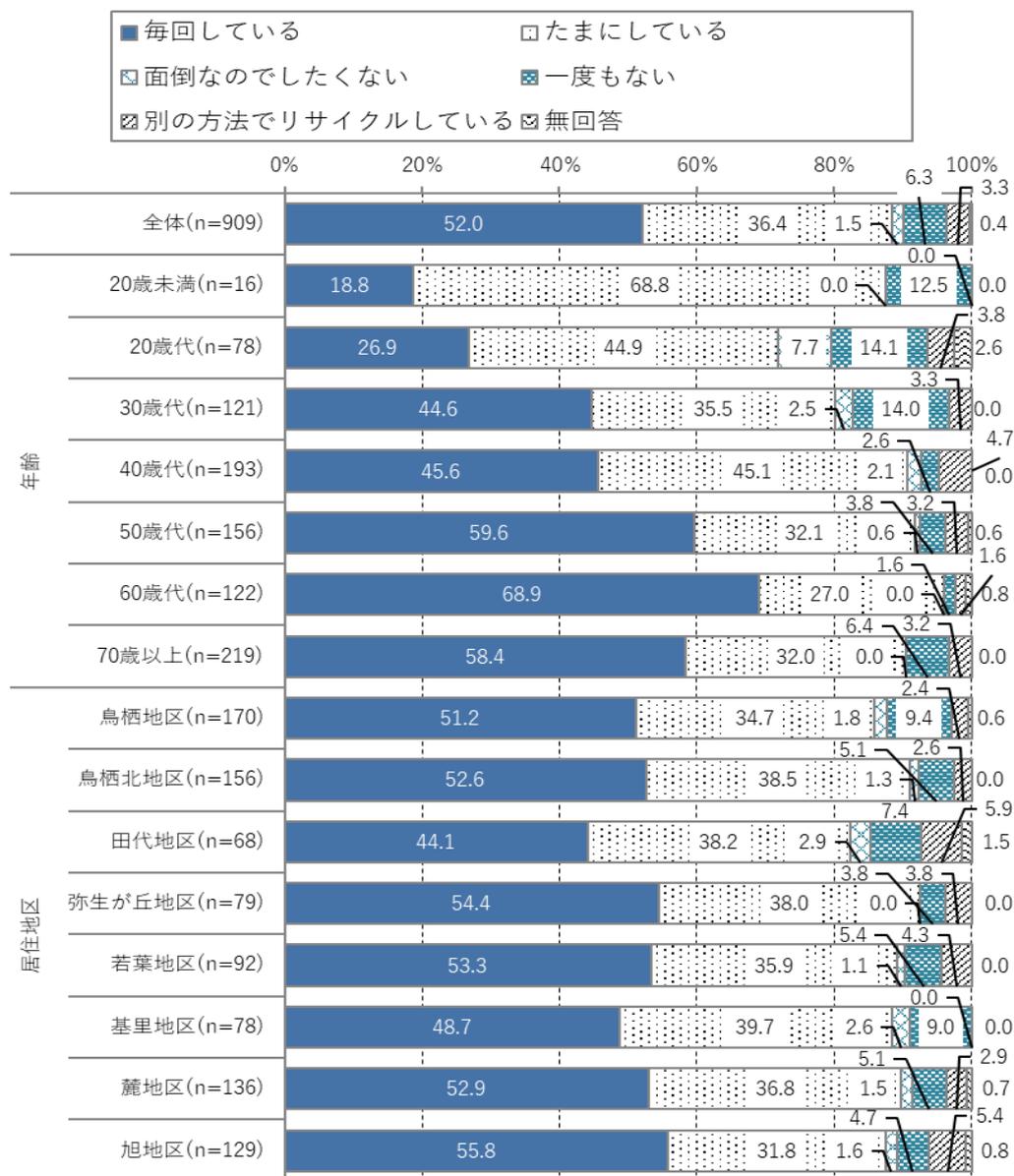
3. あなたの「鳥栖市での居住年数」を教えてください。



- あなたの「鳥栖市での居住年数」を教えてくださいとたずねたところ、「21年以上」と回答した人の割合が最も高く58.0%となっていました。次いで、「11年～20年」(19.7%)、「1年～5年」(11.0%)が続いています。
- 弥生が丘地区は「11年～20年」と回答した割合が半数を超えています。

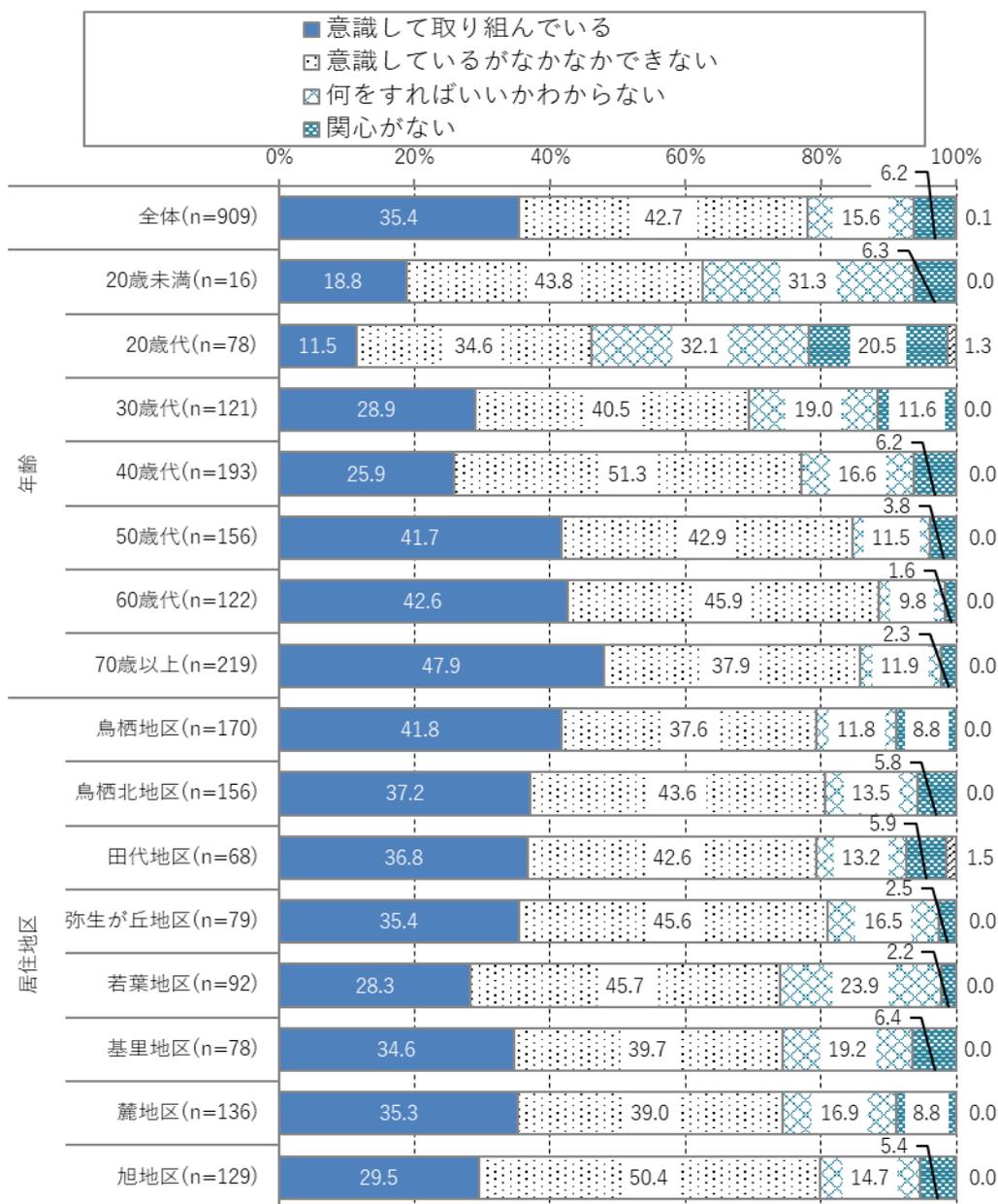
2. 鳥栖市のことについて、お聞きします。

質問 1 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、環境保全活動に取り組んでいます。町区で行われている資源物回収や、リサイクルプラザへ資源物の持ち込み等でリサイクルをしたことがありますか？



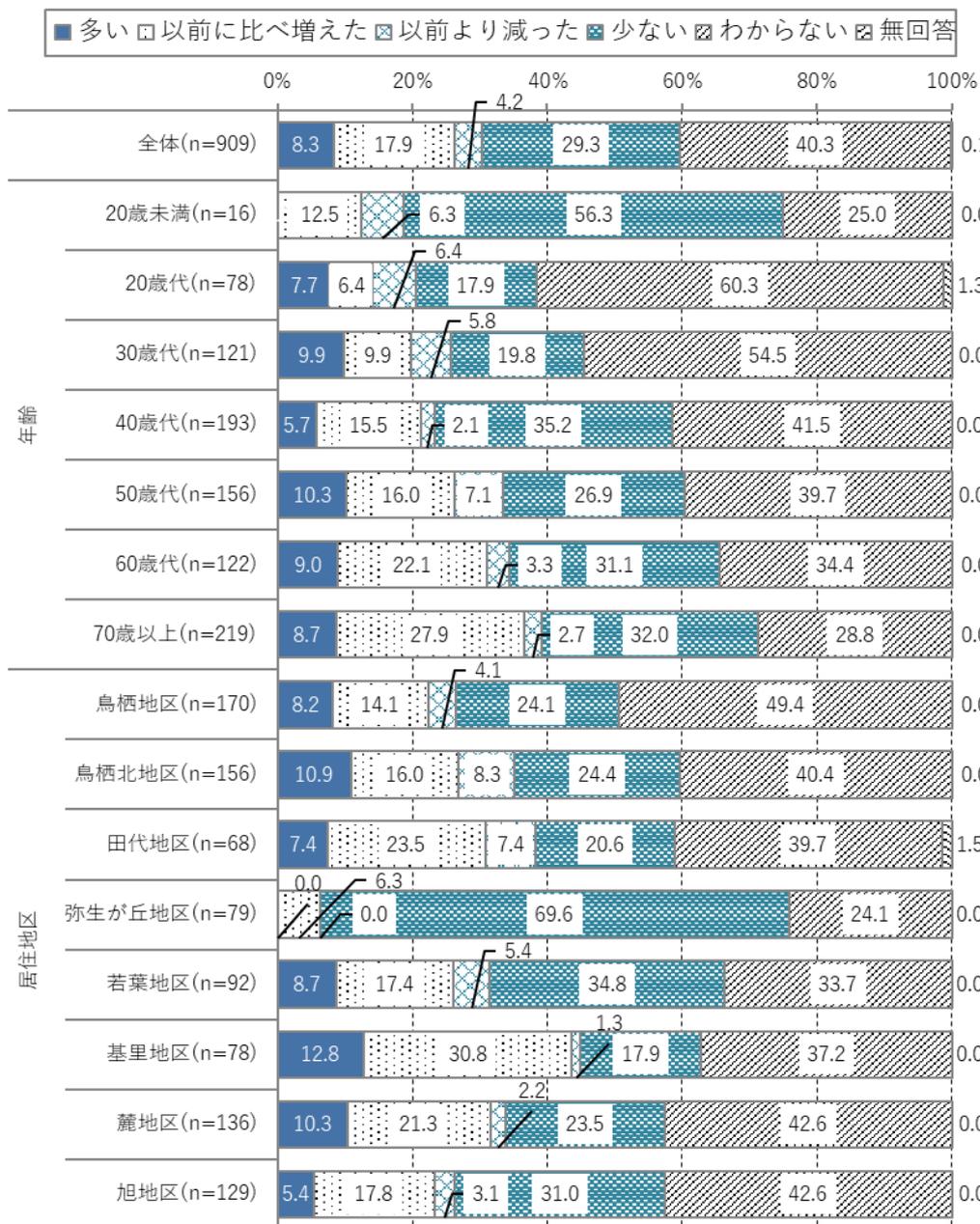
- 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、環境保全活動に取り組んでいます。町区で行われている資源物回収や、リサイクルプラザへ資源物の持ち込み等でリサイクルをしたことがありますかとたずねたところ、「毎回している」と回答した人の割合が最も高く 52.0%となっていました。次いで、「たまにしている」(36.4%)、「一度もない」(6.3%)が続いています。
- 「毎回している」の回答は概ね年齢階層が高くなるに従って増加する傾向にあり、60歳代は 68.9%にもなります。若年者が比較的低い理由としては、同居家族にリサイクルを任せている可能性もあります。

質問 2 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、ごみ減量化やリサイクルの推進に取り組んでいます。普段の生活で CO₂（二酸化酸素）排出削減について意識していますか？



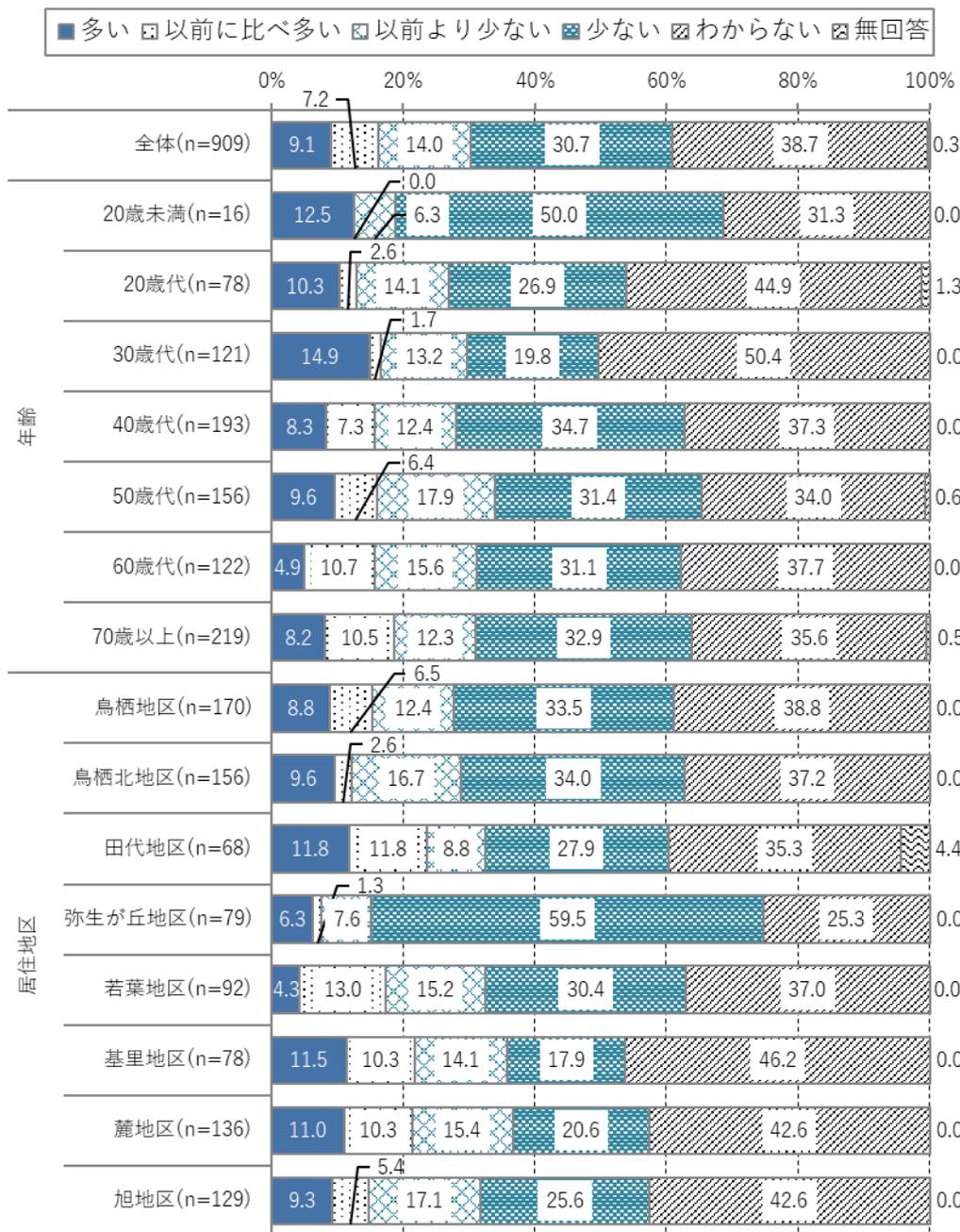
- 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、ごみ減量化やリサイクルの推進に取り組んでいます。普段の生活で CO₂（二酸化酸素）排出削減について意識していますかとたずねたところ、「意識しているがなかなかできない」と回答した人の割合が最も高く 42.7%となっていました。次いで、「意識して取り組んでいる」(35.4%)、「何をすればいいかわからない」(15.6%)が続いています。
- CO₂（二酸化酸素）排出削減について意識は、50歳代以降に強まっていることが分かります。特に70歳以上は47.9%と、すべての年齢階層で最も高くなっています。
- 居住地区別に見ると、若葉地区が「意識して取り組んでいる」と回答した人の割合が比較的低くなっています。その原因として、「何をすればいいかわからない」と回答した人が他の地区に比べて高くなっていることが見て取れます。

質問 3 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には空き家が多いと思いますか？



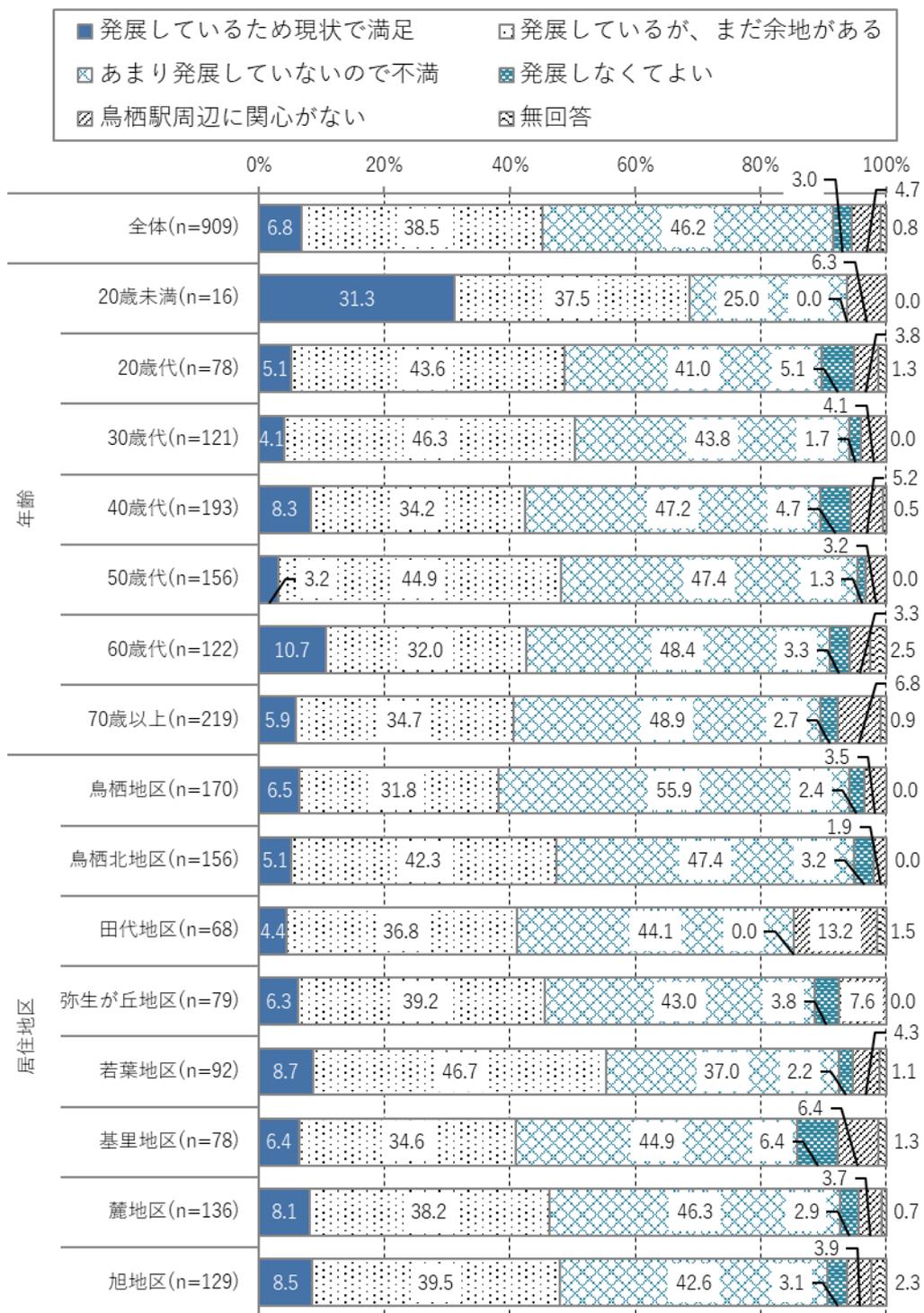
- 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には空き家が多いと思いますかとたずねたところ、「わからない」と回答した人の割合が最も高く 40.3%となっていました。次いで、「少ない」(29.3%)、「以前に比べ増えた」(17.9%)が続いています。
- 年齢階層が高くなるに従って「わからない」と回答する人の割合が減少しており、空き家に関する問題意識が年齢の高まりに従って増大する様が見取れます。
- 居住地区別にみると大きな地域性がみられます。「多い」または「以前に比べ増えた」との回答割合が最も高いのは基里地区であり、43.6%となっています。一方、弥生が丘地区は新興住宅地であることもあり、「少ない」との回答が約7割(69.6%)となっています。

質問 4 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には未利用地が多いと思いますか？



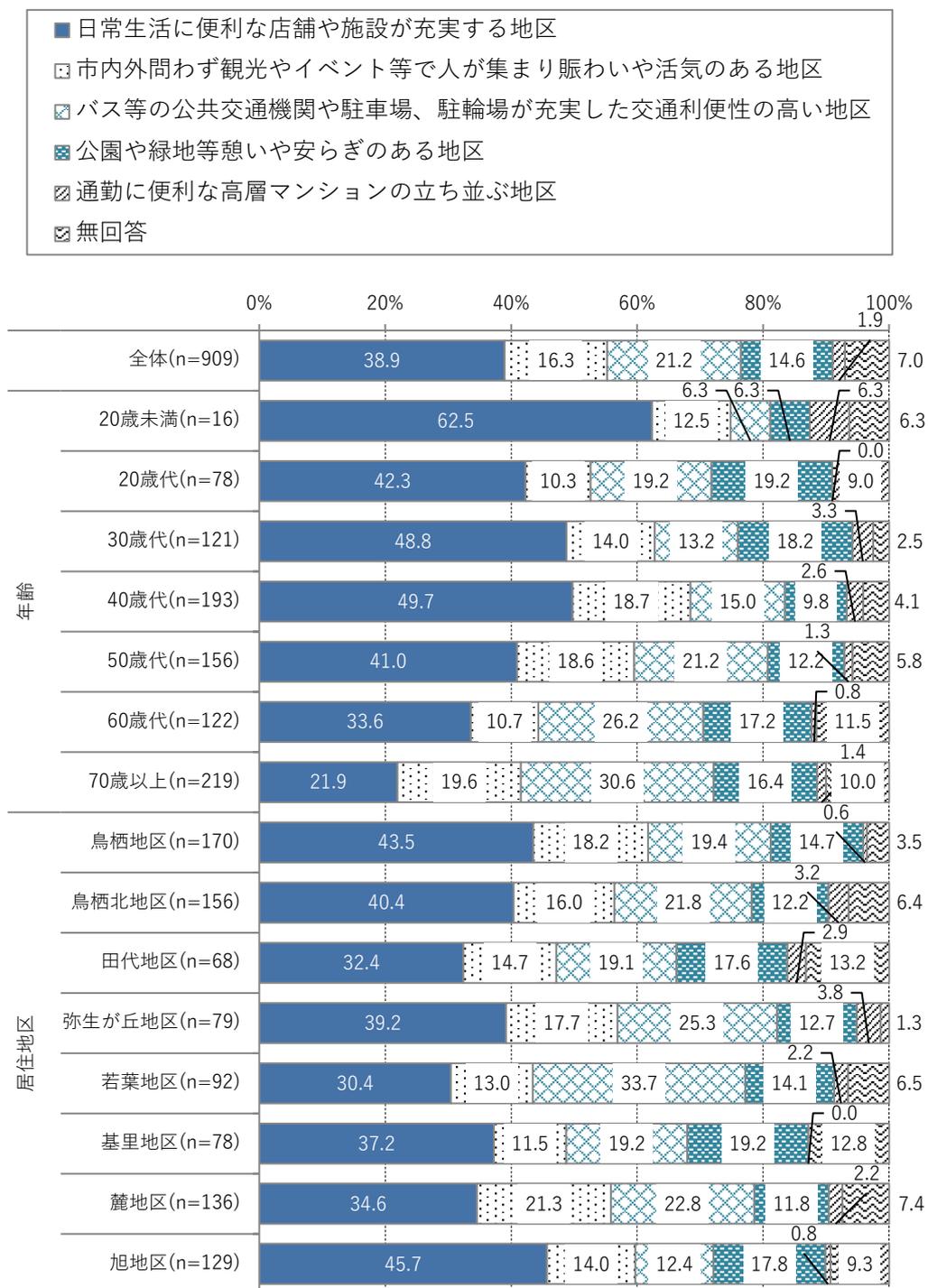
- 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には未利用地が多いと思いますかとたずねたところ、「わからない」と回答した人の割合が最も高く 38.7%となっていました。次いで、「少ない」(30.7%)、「以前より少ない」(14.0%)が続いています。
- 未利用地が「多い」と回答した人が少ない地区は若葉地区と弥生が丘地区となりますが、特に弥生が丘地区は未利用地が「少ない」と回答した人の割合が約6割(59.5%)となっており、他地区と比べて土地利用が進んでいると考えられていることが分かります。

質問 5 まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、まちづくりの拠点整備に取り組んでいます。鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですか？



●まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、まちづくりの拠点整備に取り組んでいます。鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですかとたずねたところ、「あまり発展していないので不満」と回答した人の割合が最も高く 46.2%となっていました。次いで、「発展しているが、まだ余地がある」(38.5%)、「発展しているため現状で満足」(6.8%)が続いています。

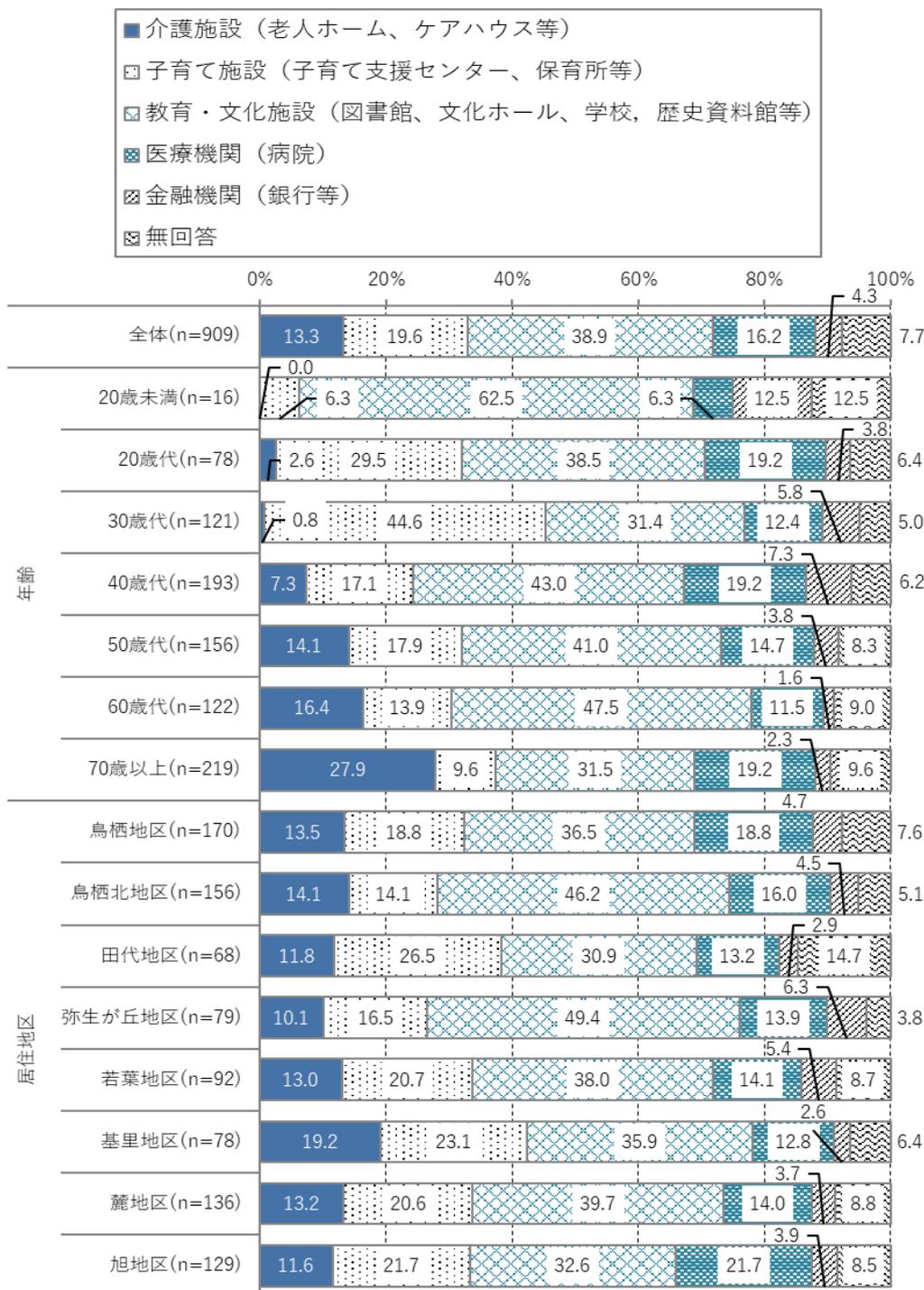
質問 6 まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますか。



●まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますかとたずねたところ、「日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区」と回答した人の割合が最も高く38.9%となっていました。次いで、「バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場が充実した交通利便性の高い地区」(21.2%)、「市内外問わず観光やイベント等で人が集まり賑わいや活気のある地区」(16.3%)が続いています。

●比較的若い人は店舗や施設、年齢が上がるにつれ交通の利便性を重視していることが分かります。

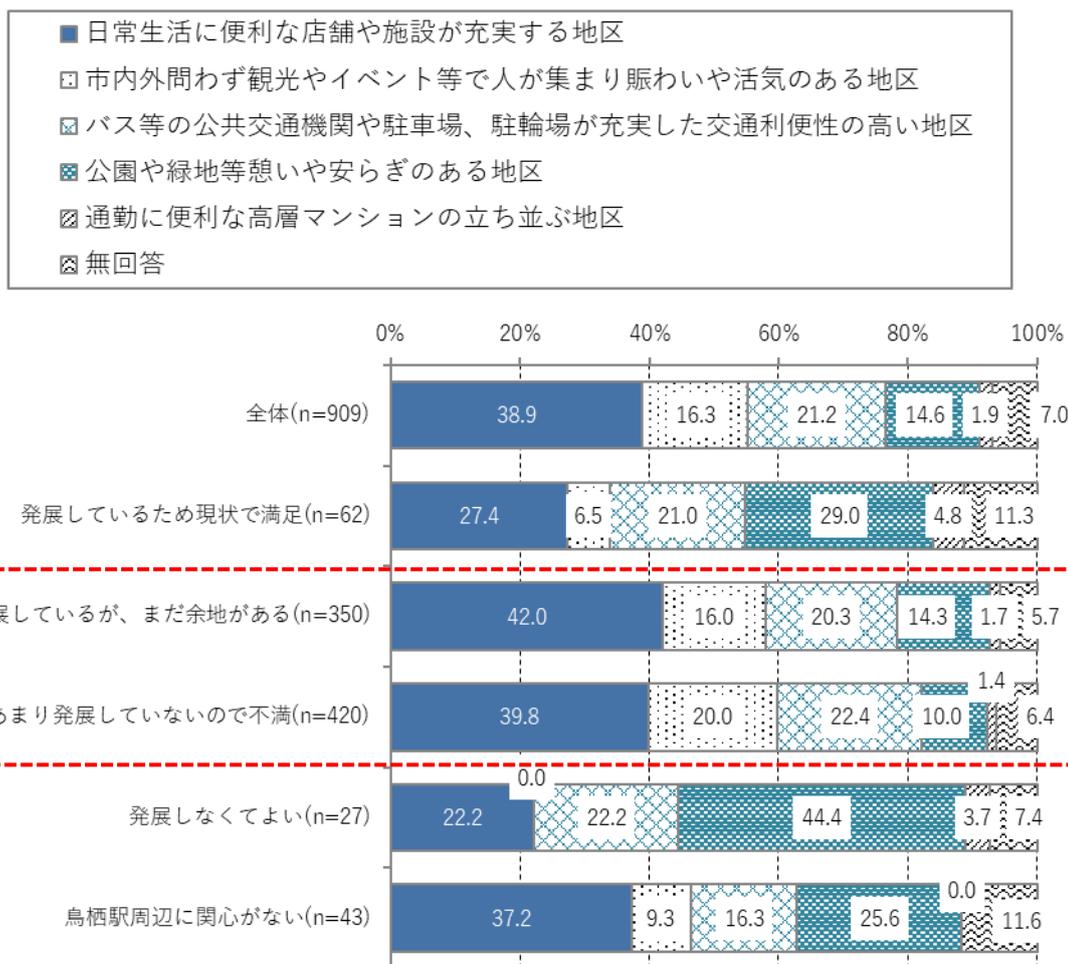
質問 7 まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺に商業施設以外ではどのような施設や機能を充実させたいですか。



●まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺に商業施設以外ではどのような施設や機能を充実させたいですかとたずねたところ、「教育・文化施設 (図書館、文化ホール、学校、歴史資料館等)」と回答した人の割合が最も高く 38.9%となっていました。次いで、「子育て施設 (子育て支援センター、保育所等)」(19.6%)、「医療機関 (病院)」(16.2%)が続いています。

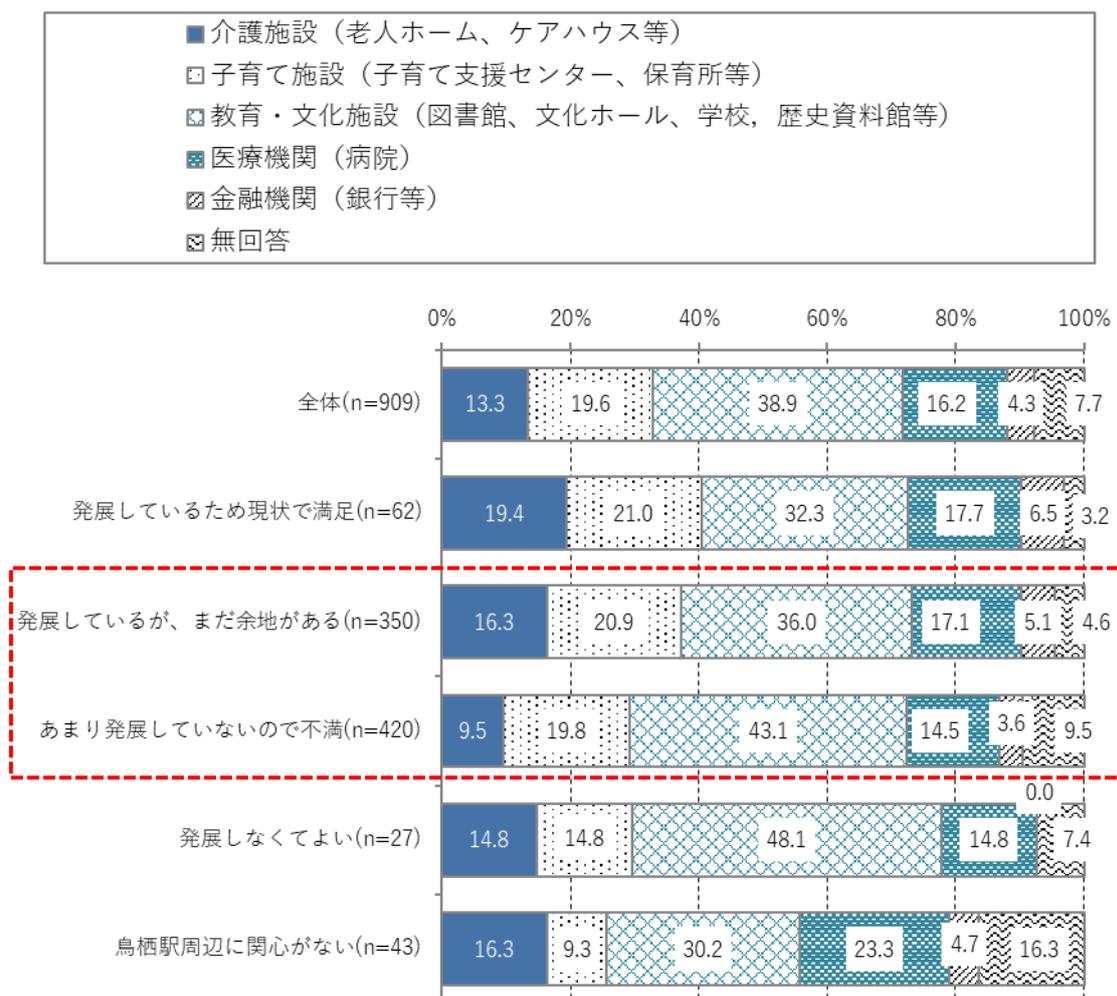
●比較的若い世代は子育て、教育・文化施設、年齢が上がるにつれ介護施設を重視しています。30歳代は子育てが最も多く 44.6%を占めます。

[質問5、質問6クロス]



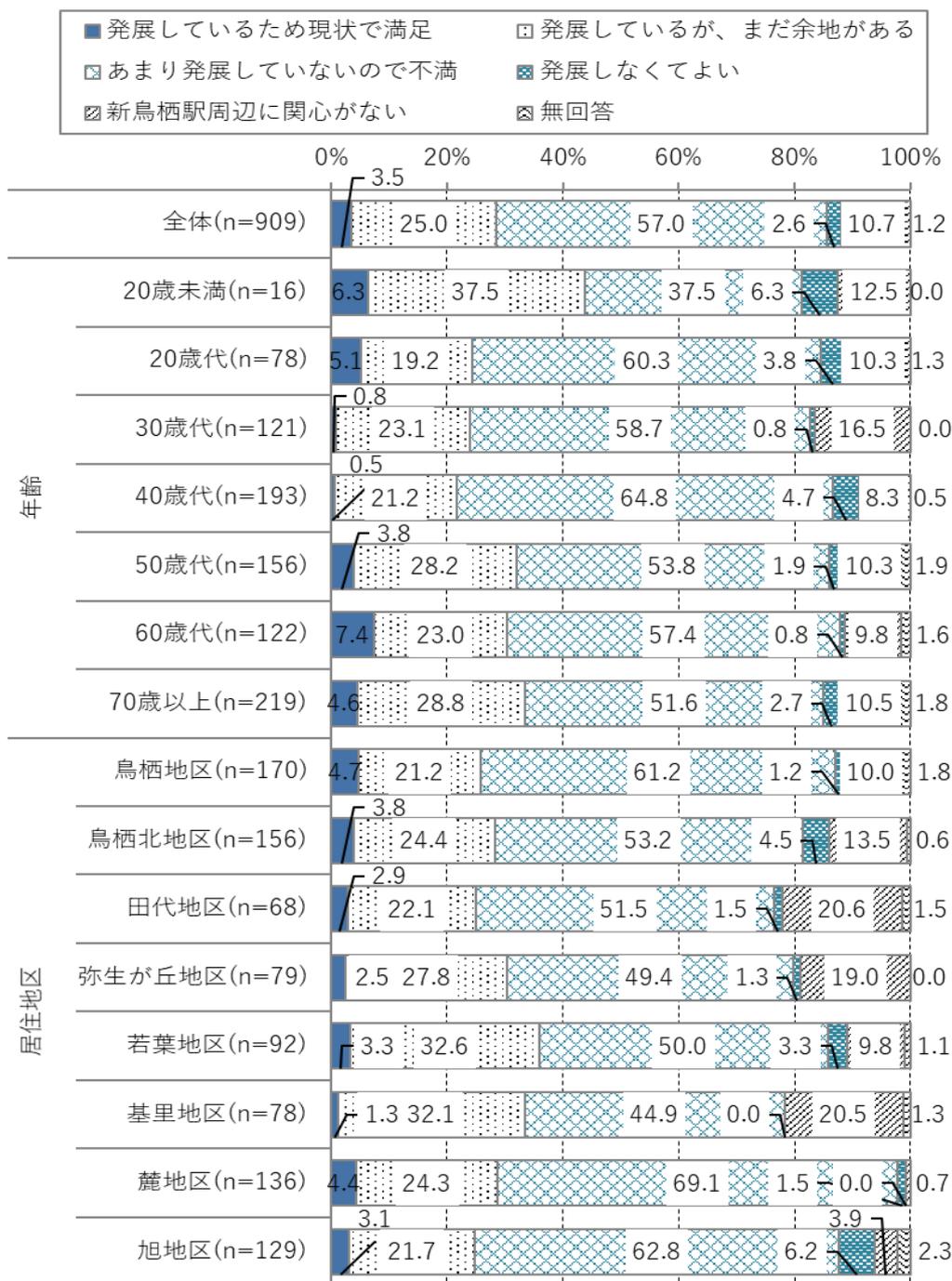
- 質問5で、鳥栖駅周辺の活性化について、「発展しているが、まだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と答えた市民は全体の84.7%であり、鳥栖駅周辺の将来像としてどのようなことを期待するのを見ても、「日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区」と答えている割合が40.8%と最も高い結果となりました。
- 質問5で、鳥栖駅周辺の活性化について「発展しているため現状で満足」、「発展しなくてよい」と答えた市民は全体の9.8%であり、将来像については、「公園や緑地等憩いや安らぎの地区」と答えている割合が33.3%と最も高い結果となりました。

[質問5、質問7クロス]



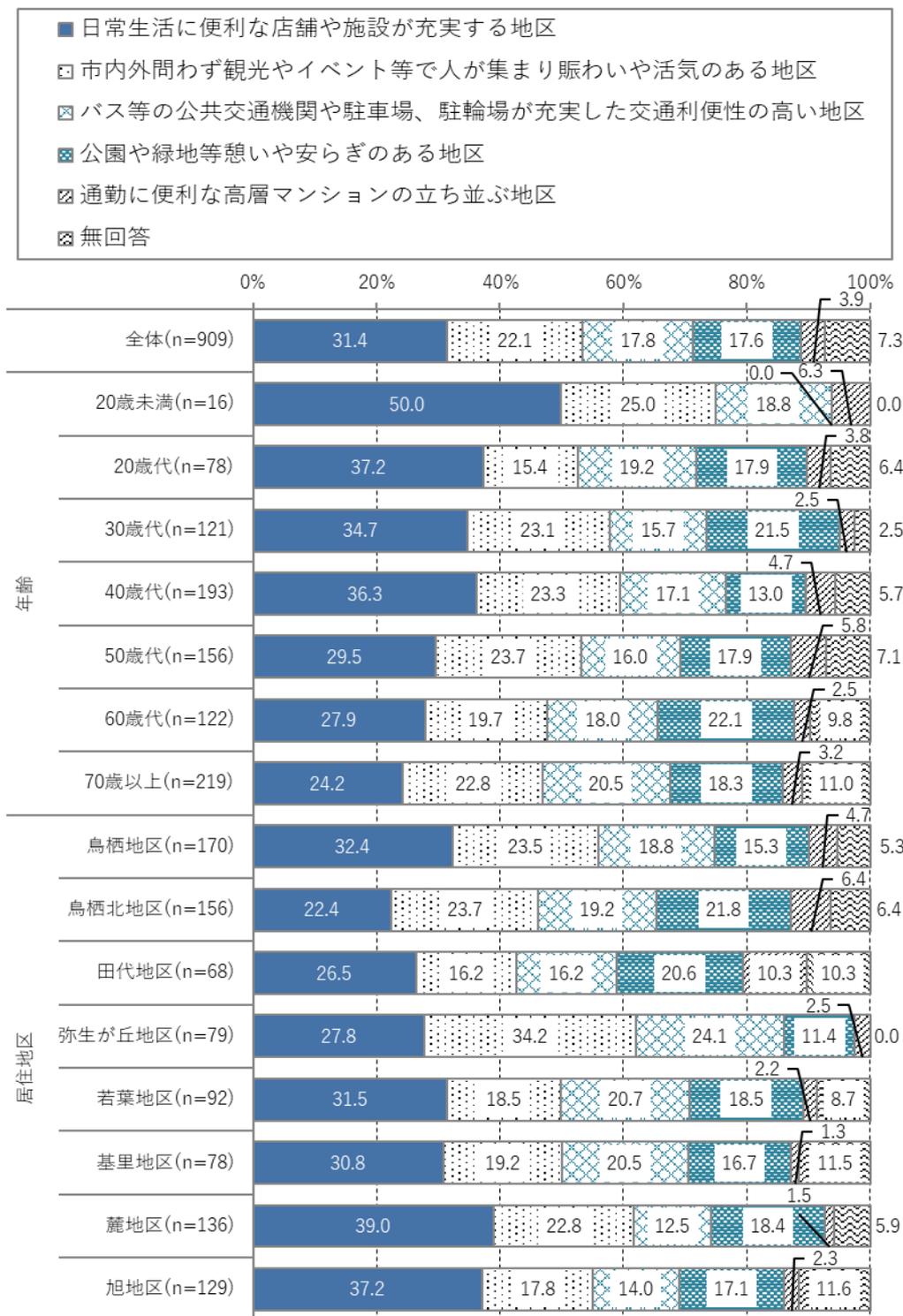
●質問5で、鳥栖駅周辺の活性化について、「発展しているが、まだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と回答した人が、鳥栖駅周辺に商業施設以外でのような施設や機能充実させたいかを見ると、「教育・文化施設（図書館、文化ホール、学校、歴史資料館等）」と回答した人の割合が最も多くなっています。

質問 8 まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですか？



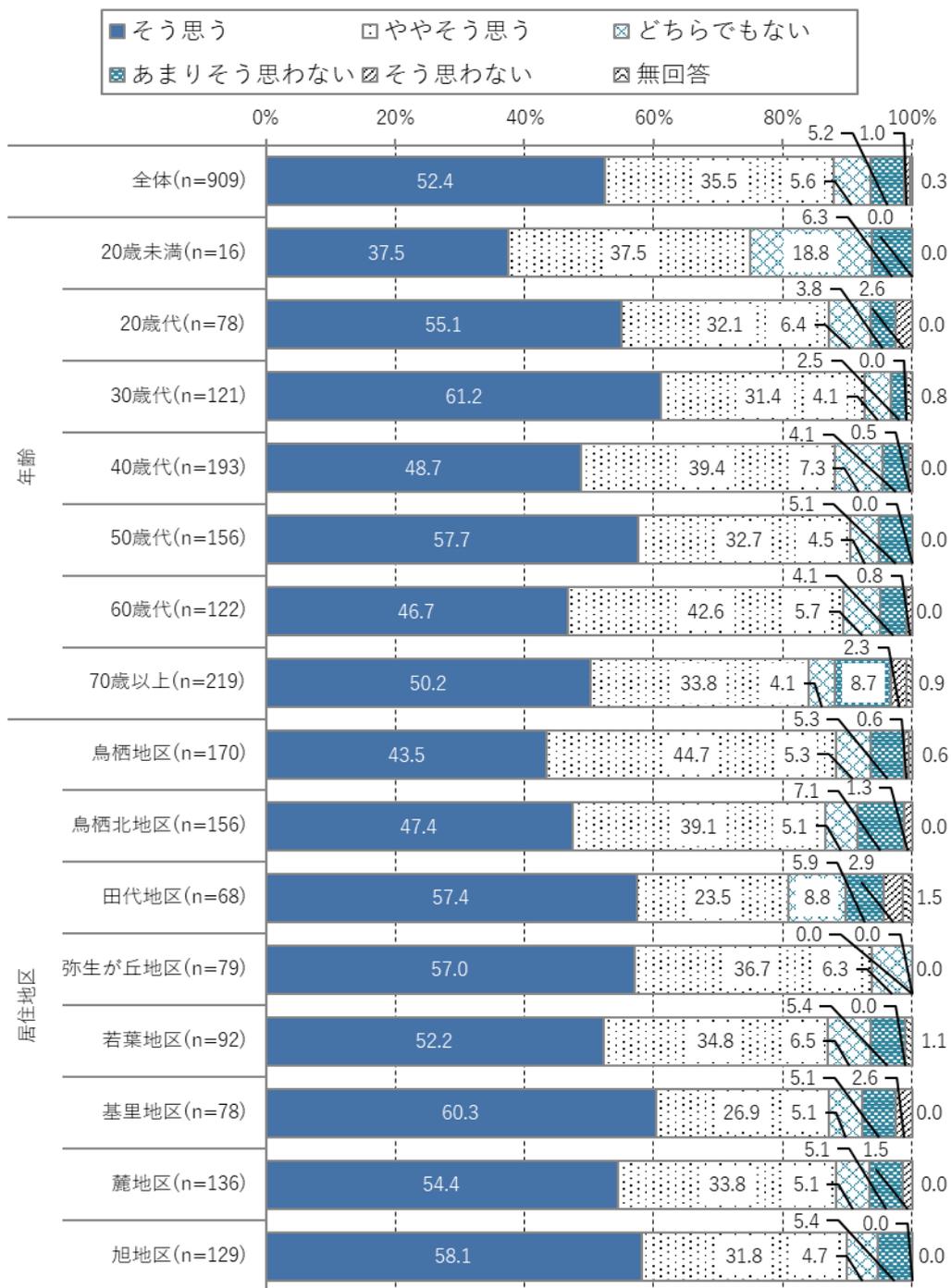
●まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですかとたずねたところ、「あまり発展していないので不満」と回答した人の割合が最も高く 57.0%となりました。次いで、「発展しているが、まだ余地がある」(25.0%)、「新鳥栖駅周辺に関心がない」(10.7%)が続いています。

質問 9 まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますか。



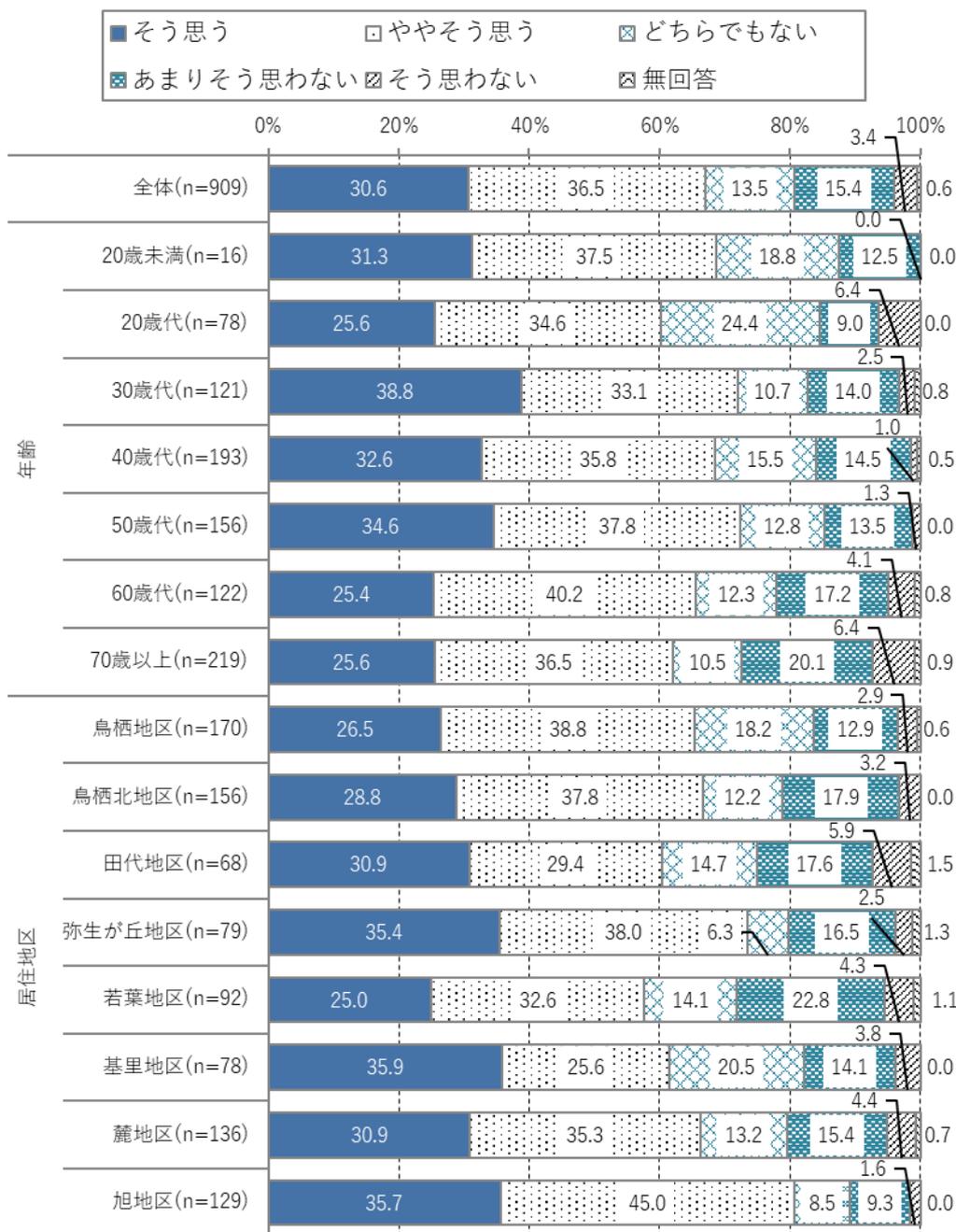
●まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますかとたずねたところ、「日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区」と回答した人の割合が最も高く31.4%となっていました。次いで、「市内外問わず観光やイベント等で人が集まり賑わいや活気のある地区」(22.1%)、「バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場が充実した交通利便性の高い地区」(17.8%)が続いています。

質問 10 主要な道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「主要な道路」が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「主要な道路」には、渋滞するイメージがありますか。



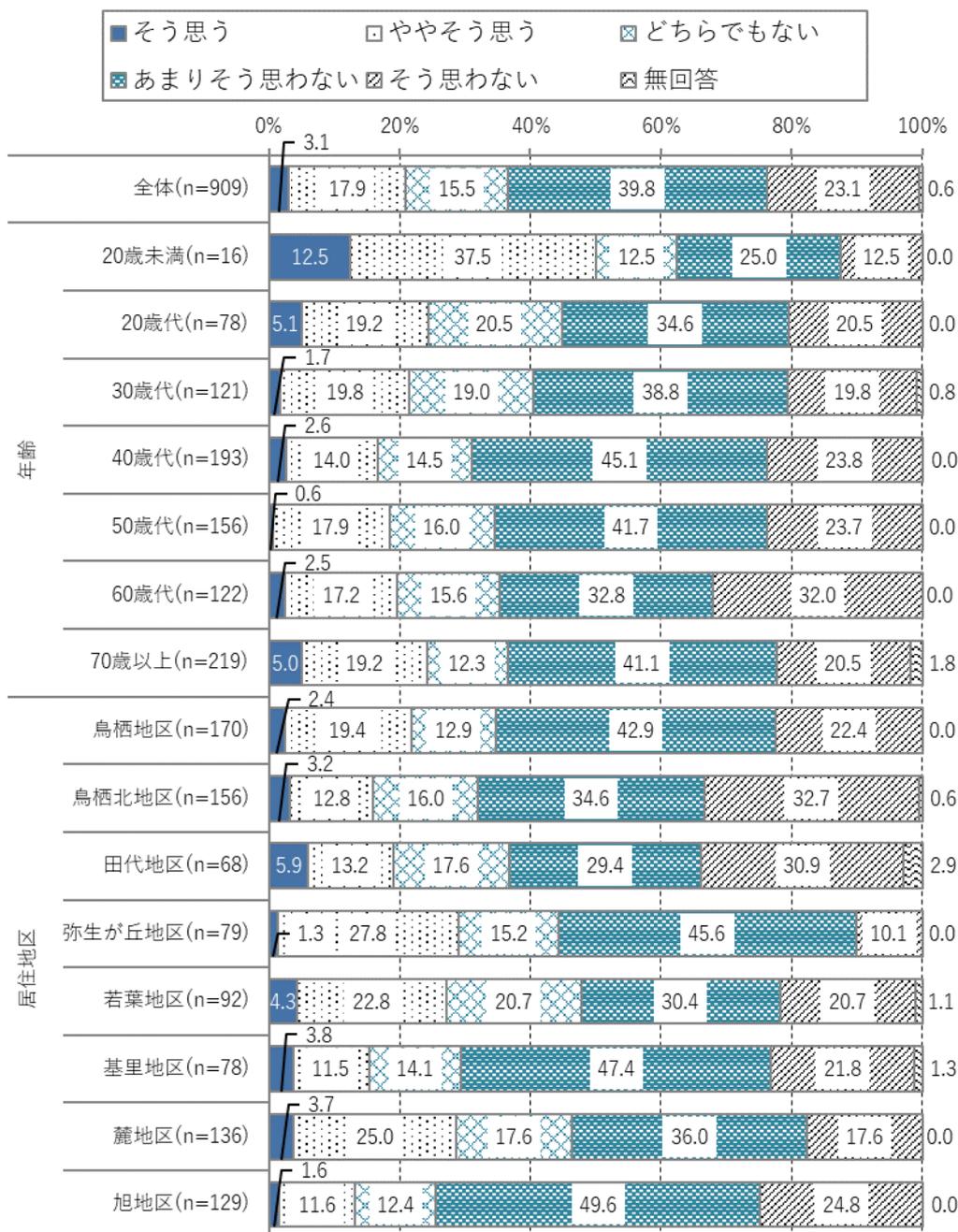
- 主要な道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「主要な道路」が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「主要な道路」には、渋滞するイメージがありますかとたずねたところ、「そう思う」と回答した人の割合が最も高く52.4%となっていました。次いで、「ややそう思う」(35.5%)、「どちらでもない」(5.6%)が続いています。
- 渋滞するイメージが比較的低いのは鳥栖地区、鳥栖北地区となっています。一方、基里地区、旭地区、田代地区、弥生が丘地区などは渋滞するイメージが比較的高くなっています。

質問 11 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「生活道路」（前頁の質問の「主要な道路」以外の道路）が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」には、渋滞するイメージがありますか。



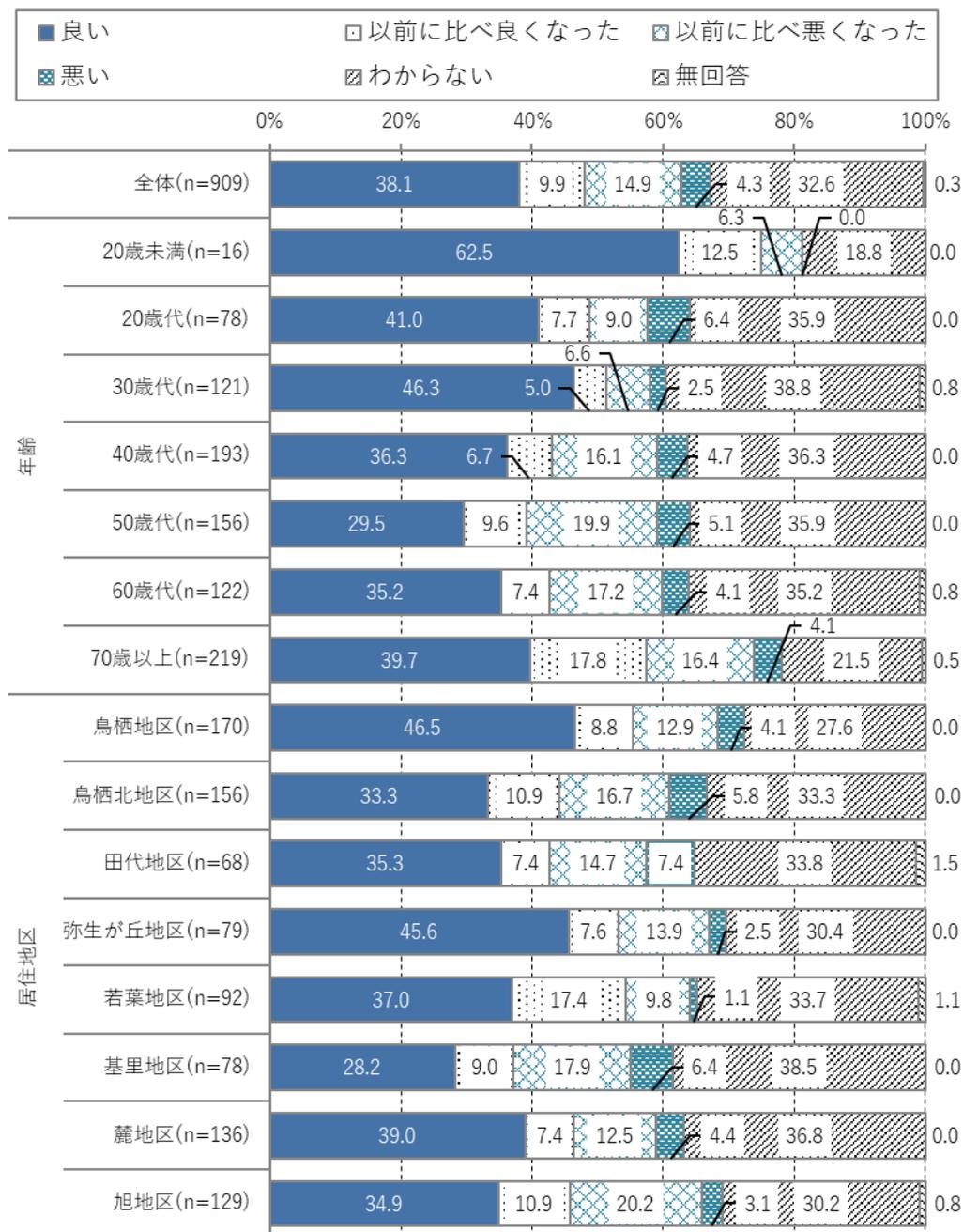
- 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「生活道路」（前頁の質問の「主要な道路」以外の道路）が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」には、渋滞するイメージがありますかとたずねたところ、「ややそう思う」と回答した人の割合が最も高く 36.5%となりました。次いで、「そう思う」（30.6%）、「あまりそう思わない」（15.4%）が続いています。
- 主要な道路に比べると、渋滞するイメージがあると回答した人の割合が比較的低いことが分かります。特に、若葉地区、鳥栖地区、鳥栖北地区は「そう思う」との回答が30.0%を下回っています。

質問 12 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、安心して通行できる、歩行者にやさしい「生活道路」の整備に取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」は、歩行者や自転車にとって安全で快適だと思いますか？



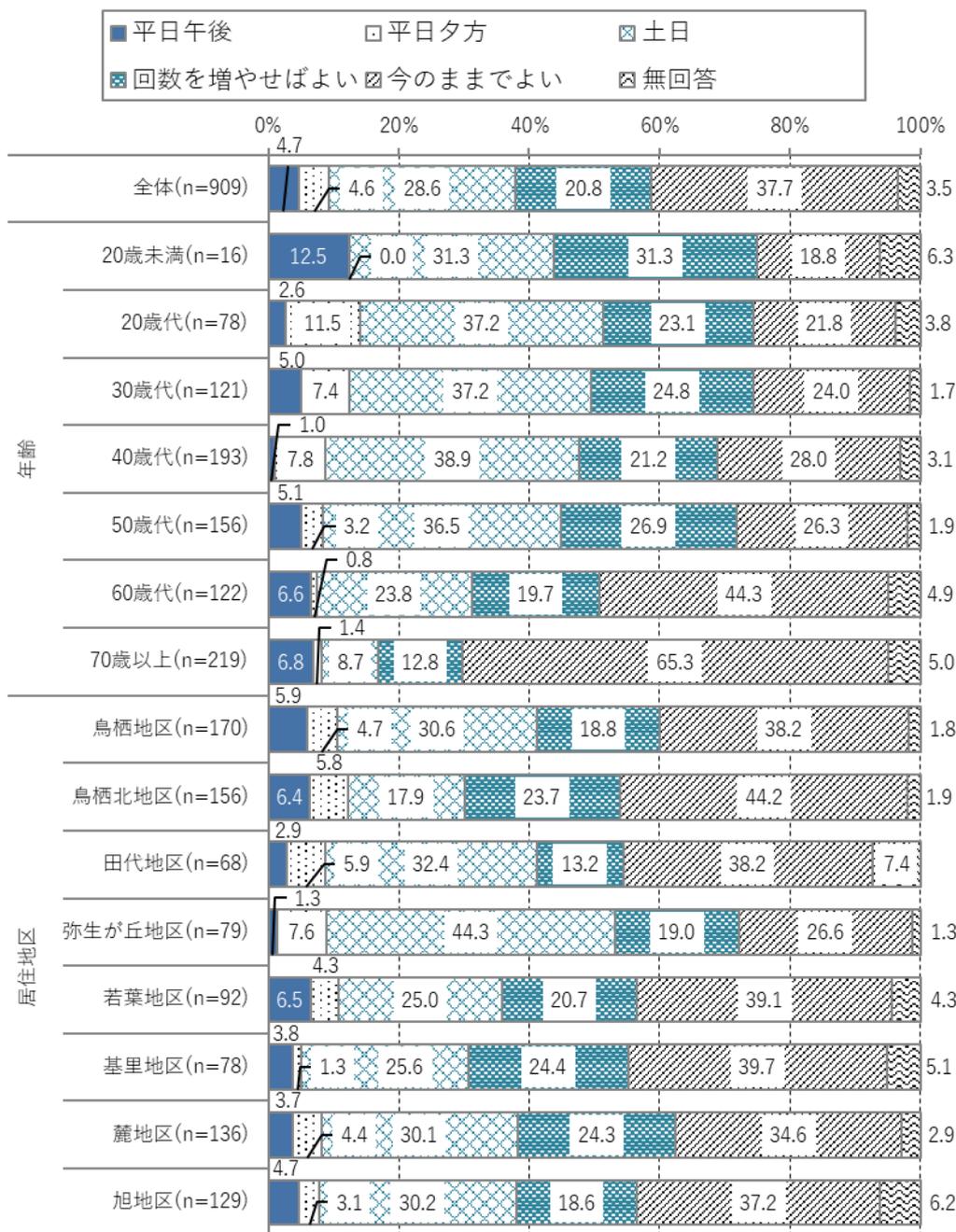
- 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、安心して通行できる、歩行者にやさしい「生活道路」の整備に取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」は、歩行者や自転車にとって安全で快適だと思いますかとたずねたところ、「あまりそう思わない」と回答した人の割合が最も高く 39.8%となりました。次いで、「そう思わない」(23.1%)、「ややそう思う」(17.9%)が続いています。
- 若葉地区と麓地区では「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が比較的低いことがわかります。

質問 13 防犯に関して、お聞きします。鳥栖市では、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。お住いの地区の治安はよいと思いますか？



●防犯に関して、お聞きします。鳥栖市では、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。お住いの地区の治安はよいと思いますかとたずねたところ、「良い」と回答した人の割合が最も高く38.1%となっていました。次いで、「わからない」(32.6%)、「以前に比べ悪くなった」(14.9%)が続いています。

質問 14 健康づくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、健康で生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。市が市民向けに実施している健康診査、がん検診の実施体制について、市民の皆様により多く受診いただくために、どんな日程・時間帯の設定が良いと思いますか？



●健康づくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、健康で生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。市が市民向けに実施している健康診査、がん検診の実施体制について、市民の皆様により多く受診いただくために、どんな日程・時間帯の設定が良いと思いますかとたずねたところ、「今のままでよい」と回答した人の割合が最も高く 37.7%となっていました。次いで、「土日」(28.6%)、「回数を増やせばよい」(20.8%)が続いています。

質問 15 子育てに関して、お聞きします。鳥栖市では、子育て支援の充実に取り組んでいます。どんな子育て支援を充実させるべきだと思いますか。

	全体	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
育児不安の軽減 (育児相談、病児保育、医療費助成、 障害児支援など)	95	1	14	16	20	19	14	11
子どもを預けて働ける環境の整備 (保育所、学童保育の充実)	63	1	7	10	15	13	7	10
子どもの遊び場・公園の整備	57	1	8	13	10	8	10	7
子育て世帯への経済的支援 (手当、給付金など)	29	2	9	6	5	2	2	3
大人による見守り (通学路の交通安全など)	24	0	1	1	3	5	2	12
現状のままでよい	4	0	0	0	1	0	0	3

- 子育てに関して、お聞きします。鳥栖市では、子育て支援の充実に取り組んでいます。どんな子育て支援を充実させるべきだと思いますかと自由回答方式でたずねたところ、「育児不安の軽減」に関する回答が最も多く 95 件となりました。次いで、「子どもを預けて働ける環境の整備」(63 件)、「子どもの遊び場・公園の整備」(57 件)が続いています。
- 年齢別にみると 20 歳代～60 歳代で「育児不安の軽減」に関する回答が多くなっています。「育児不安の軽減」以外の回答では、20 歳代は「子育て世帯への経済的支援」、30 歳代は「子どもの遊び場・公園の整備」、40 歳代、50 歳代では「子どもを預けて働ける環境の整備」に関する回答が多く、年代により充実させるべきだと思う内容は変化しています。
- 「育児不安の軽減」の内訳としては、育児の悩み相談の充実、子育て支援施設の充実、病児保育施設の整備、障害児支援の充実、子どもの医療費助成の拡充に関連する意見が多く寄せられました。この他にも、産前産後のサポートの充実、夜間救急医療や小児科などの医療体制の充実、通級教室の拡充など、多様な意見がありました。子どもが病気の時や育児に悩みがある時などに、孤立せず誰かに頼ることができるサポート体制を求める声が大きいですことがわかります。